

## 2019年1月期 1月度 月次業績動向(単体)(2018年12月21日～2019年1月20日)

## 会社名 ピープル株式会社

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 小暮雅子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

## (単体業績)

科目	月次の対比(単体)			第4四半期会計期間通期の対比(単体)			通期の対比(単体) 注)		
	2018年1月期 1月度	2019年1月期 1月度	前年 同月比	17/10/21～ 18/1/20	2018/10/21～ 2019/1/20	注)前年 同期間比	17/1/21～ 18/1/20	2018/1/21～ 2019/1/20	前年 同期間比
売上高	262,245	<b>162,379</b>	61.9%	1,239,815	1,261,286	101.7%	4,263,467	<b>4,139,109</b>	97.1%
営業利益	注) △ 60,237	<b>△ 86,706</b>	N/A	注) 183,315	188,839	103.0%	507,871	<b>435,629</b>	85.8%
経常利益	△ 75,813	<b>△ 100,592</b>	N/A	180,687	185,259	102.5%	494,125	<b>423,564</b>	85.7%
税引前利益	△ 76,107	<b>△ 100,592</b>	N/A	180,687	185,259	102.5%	450,868	<b>423,564</b>	93.9%
流動資産	2,261,667	<b>2,250,658</b>	99.5%	注)単体業績における対前年同期間比につきましては、前41期末に一括計上した米国子会社株式の減損を四半期毎に平均化して補正し、比較しております。					
固定資産	176,565	<b>220,168</b>	124.7%						
流動負債	360,719	<b>372,749</b>	103.3%						
固定負債	9,935	<b>15,055</b>	151.5%						
純資産	2,067,578	<b>2,083,022</b>	100.7%						
総資産	2,438,232	<b>2,470,826</b>	101.3%						

上記表の実績数値は、親会社単体の業績動向を前期比較にて表示しております。

## \* 2020年1月期 第1四半期 連結 業績予想

(2019年3月1日発表)

- ・売上高: 8億円 (前年同期間比15.0%減)
- ・営業利益: 55百万円 (前年同期間比49.1%減)
- ・経常利益: 55百万円 (前年同期間比48.0%減)
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益: 36百万円 (前年同期間比48.1%減)

## 商品別売上高

商品カテゴリー名	月次の対比(単体)		当月(連結)	第4四半期会計期間(連結)		通期の対比(単体)		
	2018年1月期 1月度	2019年1月期 1月度	2019年1月期 1月度	2018/1/21～ 2019/1/20	当期間 構成比	17/1/21～ 18/1/20	2018/1/21～ 2019/1/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	73,171	<b>43,089</b>	<b>43,089</b>	<b>429,958</b>	<b>33.9%</b>	1,408,604	<b>1,362,242</b>	32.9%
女兒玩具	26,286	<b>11,564</b>	<b>11,564</b>	<b>190,607</b>	<b>15.0%</b>	629,380	<b>467,541</b>	11.3%
遊具・乗り物	15,159	<b>6,163</b>	<b>6,163</b>	<b>121,378</b>	<b>9.6%</b>	517,586	<b>478,837</b>	11.6%
海外販売、その他	147,629	<b>101,564</b>	<b>103,929</b>	<b>526,301</b>	<b>41.5%</b>	1,707,899	<b>1,830,490</b>	44.2%
合計	262,245	<b>162,379</b>	<b>164,745</b>	<b>1,268,243</b>	<b>100.0%</b>	4,263,467	<b>4,139,109</b>	100.0%

## 1月度新発売およびリニューアル商品

当月はありません。

当42期1月度は、国内販売において玩具部門の極端な受注調整を受け、海外販売を含めた連結総売上高は1億65百万円と単月で前期比は縮小し(前年同月比は単体をご参照ください)、当1月度を含む第4四半期間の売上高は連結で12億68百万円、前年同期間対比1.7%増(前年同期間比は単体をご参照ください)となり、同四半期の開示している予想の範囲に留まりました。

当1月度では、例年に比べ12月22～24日の3日間の商戦ピークを迎える寸前まで玩具市場全般に実需要が前年に届かず、ピーク3日間を含んだ最終週でようやく前年実績を大きく超え、当社の玩具部門でも同様の現象を辿りました。極端な短期決戦は、問屋卸し段階で潤沢に在庫されていたものの、店頭までの補充が間に合わず、店頭欠品等に繋がりました。当社品では人形、「ピタゴラス」含む知育玩具等の主力アイテムが商戦最終日には欠品し、機会損失も生じました。クリスマス後の補充は問屋在庫の消化で賄えたことから当社への受注出荷は限定的となりました。

尚、年末では市場縮小とともに回復が遅れていた当社の抱き人形は、翌第43期開始月に当たる2月度発売に向けたお人形の新製品を12月に業界発表したことから、新規注文出荷を2月度に控え、大手量販店をはじめとして既存品在庫の仕入調整が行われ、当1月度の売上に極端に影響しています。

上述のように玩具部門では受注調整を受けたものの、人気の自転車「ケッターサイクル」、他、育児用品の“お出かけシリーズ”「Bebe Pocket」等は、1月度の寒い環境にもかかわらず活発な補充が開始されています。

尚、当月は第42期決算期末に当たり、当1月度単月(単体)の損益には決算修正を含んでおります。2019年1月期連結業績の詳細は、本日開示の「2019年1月期決算短信(連結)」をご参照下さい。